

2019年度 聖路加国際大学 研究倫理審査委員会 議事録要旨

日時：2019年11月19日(火)18:01～18:22

場所：聖路加国際大学 本館・4階 PC ルーム

議長：片岡 弥恵子(委員長)

出席委員：片岡 弥恵子、鈴木 美穂、小野 若菜子、小林 京子、縄 秀志、大久保 暢子、小山田 恭子、
中田 諭、木下 康仁、竹森 志穂、蛭田 明子、中村 めぐみ、墨岡 亮、鐘ヶ江 眞知恵、神里 彩子

欠席委員：鶴若 麻里、高橋 奈津子、青木 美紀子、川上 千春、中山 昌明、横瀬 利枝子
(出席者 15人をもって、委員会の成立)

1. 審議事項:新規申請(本審査)

① 石井 歩 (精神看護学 博士)

「A病院の精神科病棟における重症精神疾患患者周術期ケア質向上に向けた参加型学習プログラムの
Implementation Research」

研究責任者(石井氏)より、研究の概要等について説明が行われた。

質疑応答の上、研究実施の妥当性について審議した。

【審議結果】 条件付き承認

2. 審議事項:その他の本審査

委員長より、添付資料の通り実施状況について説明が行われた。

委員から異議はあがらず、審議参加者全員一致により、承認となった。

3. 報告事項:新規申請の承認報告

迅速審査及び書類審査該当の新規申請研究について、添付資料の通り報告された。

4. 報告事項:既承認研究の軽微な変更・その他の報告

既に承認されている研究について、添付資料の通り報告された。

5. 委員長からの報告、連絡事項、検討事項

① 今月の審議・報告課題に関し利益相反の申告がない旨、委員へ確認があった。申告のある委員はいなかった。

6. 事務局からの報告、連絡事項

① 来年の開催場所について連絡がされた。

7. AMED 中央 IRB 促進事業について

8. 次回委員会開催連絡

次回の研究倫理審査委員会日時:2019年12月17日 18:00～ (2号館2階 メディアルーム)にて開催。

1.新規申請(本審査)(2019/11/19審査分)

| 審査種類 | 承認番号 | 課題名 | 所属 | 職名 | 氏名 | 審査区分 | 判定 |
|------|---------|---|-----------|----|------|---------------------|------------|
| 本審査 | 19-A076 | A病院の精神科病棟における重症精神疾患患者周術期ケア質向上に向けた参加型学習プログラムのImplementation Research | 【大学】精神看護学 | 博士 | 石井 歩 | 本審査 (小野/ 小山田) | 条件付き 承認 |

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2019年 11月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

2.審議事項:その他の本審査(2019/11/19審査分)

| 審査種類 | 承認番号 | 課題名 | 所属 | 職名 | 氏名 | 審査区分 | 判定 |
|------|---------|---|------------|----|-------|------|----|
| 継続 | 18-A012 | 救命救急センター看護師の意識のある患者への自立促進の視点をもつケアの判断と実際 | 【大学】急性期看護学 | 修士 | 木戸 蓉子 | 本審査 | 承認 |

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において審議を行い、判定いたしました。

2019年 11月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

3.報告事項:新規申請の承認報告(2019/9/17~2019/11/18審査分)

| 承認番号 | 課題名 | 所属 | 職名 | 氏名 | 審査区分 | 担当者意見 | 判定 |
|---------|---|------------------|------|--------------|-------------------|---------------------------|----|
| 19-A038 | A有料老人ホームにおける“エンディングノート”を用いたAdvance Care Planningプログラム | 【大学】公衆衛生看護学 | 博士 | 松本 佐知子 | 書類 (片岡) | 条件付き承認 指摘事項が修正されたので問題無 | 承認 |
| 19-A054 | 遷延性意識障害患者におけるPatient-Centered Care, Person-Centered Careの実践内容の検討 | 【大学】ニューロサイエンス看護学 | 修士 | 大坪 賢治 | 書類 (片岡) | 条件付き承認 指摘事項が修正されたので問題無 | 承認 |
| 19-A055 | インドネシアの助産学生に向けたチーム基盤型学習を用いた産後出血に関する学習効果:準実験研究 | 【大学】助産学 | 博士 | Ulfa YuneFit | 書類 (片岡) | 条件付き承認 指摘事項が修正されたので問題無 | 承認 |
| 19-A045 | 東京都の私立小学校、私立中学校、私立高等学校の自然災害対策の実態とその養護教諭の役割認識～学校の安全管理者と養護教諭の質問紙調査～ | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 八十濱 希恵 | 迅速 (小林/ 竹森) | 問題なし | 承認 |
| 19-A051 | 無痛分娩を選択し、出産した女性の体験～出産に対する価値観に焦点をあてて | 【大学】助産学 | 修士 | 越塚 優佳 | 迅速 (木下/ 小林) | 問題なし | 承認 |
| 19-A052 | LGBT当事者にとっての働きやすさの考察 | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 宮下 茜 | 迅速 (小野/ 蛭田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A053 | 子ども立ち会い分娩に関する意思決定の現状と情報ニーズ | 【大学】助産学 | 修士 | 今野 佳奈 | 迅速 (青木/ 中田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A056 | 看護学のメタ理論としての批判的実在論の可能性 | 【大学】看護社会学 | 特任教授 | 木下 康仁 | 迅速 (縄/ 高橋) | 問題なし | 承認 |
| 19-A057 | 新生児搬送で母子分離となった褥婦への助産所助産師の支援 | 【大学】ウィメンズヘルス | 修士 | 古谷 七海 | 迅速 (青木/ 中田) | 問題なし | 承認 |

| | | | | | | | |
|---------|--|--------------|-----|--------|--------------------|------|----|
| 19-A058 | 不妊治療後の女性が自覚する更年期の健康状態 | 【大学】ウィメンズヘルス | 修士 | 鈴木 怜世 | 迅速 (小野/ 蛭田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A059 | 「産後の母親への受胎調節指導に対する助産師の意識や思い」 | 【大学】助産学 | 修士 | 佐々木 望笑 | 迅速 (木下/ 青木) | 問題なし | 承認 |
| 19-A060 | 妊娠期におけるDVスクリーニング陽性者に向けた支援ツールの開発 | 【大学】助産学 | 修士 | 田崎 史子 | 迅速 (小山田/ 竹森) | 問題なし | 承認 |
| 19-A061 | 実地指導者として望ましい態度尺度および新人助産師教育に関する知識テストの妥当性、信頼性の評価 | 【大学】助産学 | 博士 | 山本 真実 | 迅速 (小林/ 竹森) | 問題なし | 承認 |
| 19-A062 | 産後の残尿量と排尿状態の経時的変化 | 【大学】助産学 | 博士 | 川添 いづみ | 迅速 (小山田/ 中田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A063 | 食支援を受ける摂食嚥下機能障害を有する在宅高齢者におけるQOL構成要素の検討 | 【大学】老年看護学 | 助教 | 河田 萌生 | 迅速 (小野/ 蛭田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A064 | その人らしい出産を支える助産所助産師の支援 | 【大学】助産学 | 修士 | 喜井 幸媛 | 迅速 (鈴木/縄) | 問題なし | 承認 |
| 19-A065 | ベビーウェアリング(児と一体になること)で生じる養育者の思い | 【大学】ウィメンズヘルス | 修士 | 中谷 礼子 | 迅速 (小山田/ 川上) | 問題なし | 承認 |
| 19-A066 | 入院中の子どもの家族の生活と支援に関する実態調査 | 【大学】小児看護学 | 教授 | 小林 京子 | 迅速 (川上/ 中村) | 問題なし | 承認 |
| 19-A067 | 女性特有の健康課題を総合的に扱う当事者活動への参加経験による、女性当事者視点でとらえた女性のヘルスリテラシーの変化の検討 | 【大学】看護情報学 | 博士 | 北 奈央子 | 迅速 (高橋/ 大久保) | 問題なし | 承認 |
| 19-A068 | 若者を対象とした緊急避妊薬についての知識を普及する教育媒体の開発 | 【大学】ウィメンズヘルス | 修士 | 高見 真由 | 迅速 (大久保/ 中田) | 問題なし | 承認 |
| 19-A070 | 地域で生活する市民および専門職のヘルスリテラシーおよび育児負担感の検討 | 【大学】小児看護学 | 准教授 | 西垣 佳織 | 迅速 (小野/ 高橋) | 問題なし | 承認 |

| | | | | | | | |
|---------|--|-----------------------|----|--------|--------------------|------|----|
| 19-A071 | 看護師国家試験における現状の評価及び出題形式等の改善に関する研究:質問紙調査 | 【大学】慢性期看護学・がん看護学・緩和ケア | 教授 | 林 直子 | 迅速 (小野/ 青木) | 問題なし | 承認 |
| 19-A072 | 高校生のヘルスリテラシーの獲得に関連する経験および資源 | 【大学】看護情報学 | 博士 | 萩原 加奈子 | 迅速 (小山田/ 竹森) | 問題なし | 承認 |
| 19-A073 | 認定看護教育課程 修了者の動向調査について | 【大学】在宅看護学 | 教授 | 山田 雅子 | 迅速 (鈴木/ 中田) | 問題なし | 承認 |

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2019年 11月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子

4.報告事項:既承認研究の軽微な変更、その他の報告(2019/9/17~2019/11/18審査分)

| 審査種類 | 承認番号 | 課題名 | 所属 | 職名 | 氏名 | 審査区分 | 担当者意見 | 判定 |
|------|---------|---|-------------|-------|--------|--------|-------|----|
| 変更申請 | 17-A104 | 低出生体重児の家族支援のための保健師教育プログラムの開発—教育プログラムの試行と評価— | 【大学】公衆衛生看護学 | 助教 | 永井 智子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 18-A014 | 学修の過程で看護を学ぶことの「面白さ」を感じた経験 | 【大学】看護教育学 | 修士 | 紀ノ岡 浩美 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 18-A052 | 北海道における道央圏外の病院の看護管理者の継続学習の実態とニーズ | 【大学】看護管理学 | 博士 | 矢野 祐美子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 18-A077 | 陣痛促進剤の使用量による母乳育児および内因性オキシトシンへの影響: コホート研究 | 【大学】助産学 | 客員研究員 | 高畑 香織 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 18-A089 | 歌舞伎俳優を継ぐ者にとっての健康 | 【大学】公衆衛生看護学 | 博士 | 湯浅 晶子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 18-A094 | 2型糖尿病治療の中断の時期を有する人を対象とした「糖尿病とゆるやかにつき合っていく」ことを助けるケアプログラムの開発 | 【大学】成人看護学 | 博士 | 米田 昭子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A016 | 軽度のアルツハイマー病と診断された高齢者の診断後早期の心理・社会的側面の体験 | 【大学】老年看護学 | 修士 | 根岸 由依 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A022 | 暫定版J—BWAPと患者アウトカムとの関連性の検討 | 【大学】成人看護学 | 博士 | 木村 理加 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A024 | がんゲノム医療中核拠点病院におけるがん遺伝子パネル検査をめぐる看護職の役割と課題 | 【大学】遺伝看護学 | 准教授 | 青木 美紀子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A043 | 分娩期における新人助産師の臨床判断能力強化に向けた実地指導者への教育プログラムの開発と実行可能性の評価 | 【大学】助産学 | 博士 | 山本 真実 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A045 | 東京都の私立小学校、私立中学校、私立高等学校の自然災害対策の実態とその養護教諭の役割認識～学校の安全管理者と養護教諭の質問紙調査～ | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 八十濱 希恵 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A045 | 東京都の私立小学校、私立中学校、私立高等学校の自然災害対策の実態とその養護教諭の役割認識～学校の安全管理者と養護教諭の質問紙調査～ | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 八十濱 希恵 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A052 | LGBT当事者にとっての働きやすさの考察 | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 宮下 茜 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A052 | LGBT当事者にとっての働きやすさの考察 | 【大学】公衆衛生看護学 | 修士 | 宮下 茜 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |
| 変更申請 | 19-A060 | 妊娠期におけるDVスクリーニング陽性者に向けた支援ツールの開発 | 【大学】助産学 | 修士 | 田崎 史子 | 書類(片岡) | 問題なし | 承認 |

| | | | | | | | | |
|------|---------|--|----------------|----|-------------|------------|------|----|
| 変更申請 | 19-A060 | 妊娠期におけるDVスクリーニング陽性者に向けた支援ツールの開発 | 【大学】助産学 | 修士 | 田崎 史子 | 書類 (片岡) | 問題なし | 承認 |
| 終了報告 | 17-A062 | 「Experience of Patients and Family Caregivers with Ischemic Stroke: Before and After Discharge 脳梗塞を発症した患者とその家族の入院中および退院後の経験」 | 【大学】在宅看護学 | 博士 | Nia Damiaty | / | / | / |
| 終了報告 | 18-A067 | ホスピス・緩和ケア病棟からの一時退院が遺族からみた患者のQOLに及ぼす影響とその関連要因 | 【大学】がん看護学・緩和ケア | 修士 | 麻生 咲子 | | | |
| 終了報告 | 18-A073 | 慢性心不全をもつ高齢者が語る病いの経験に関する研究 | 【大学】在宅看護学 | 博士 | 西田 志穂 | | | |
| 終了報告 | 18-A089 | 歌舞伎俳優を継ぐ者にとっての健康 | 【大学】公衆衛生看護学 | 博士 | 湯浅 晶子 | | | |

上記事項に関し確かに研究倫理審査委員会において報告を行い、確認いたしました。

2019年 11月 19日

研究倫理審査委員会委員長 片岡 弥恵子